

## 令和6年度 広島市まちづくり市民交流プラザ 第3回運営委員会 会議録

日 時 令和7年2月5日(水) 10時00分～12時00分

場 所 合人社ウェンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

北棟6階 マルチメディアスタジオ

出席者 (委員) 阿部委員、木谷委員、服部委員、藤原委員、脇谷委員

(プラザ) 森原館長、石山主任

### 議事及び会議要旨

#### 議事1 モニタリングアンケート結果について

**事務局から、モニタリングアンケート結果(資料1)について報告し、意見が交わされた。**

- アンケート結果から様々なことが読みとれるが、苦情や事故なども含めてどのような運営がされているのか、資料の中に盛り込んでいただければ、プラザを応援していく上で意見を伝えることができる。
- 昨年度と今年度の比較ができるとよい。
- 「らしっく」は送付いただいているので読んでいるが、一般の市民には触れる機会が少ない。「らしっく」は、読んでいくと面白いし、役立つ情報が多い。見聞きしやすいのはホームページである。しかし、ホームページも若年層は見ない。よって、若年層の利用を増やす取り組みを考えていくなれば、SNSを活用した方がよい。XやFacebookなどでプラザの魅力を発信し、詳細はホームページを読んでいただくとよい。
- ・若年層の利用を増やす取り組みは、前回の運営委員会でも説明したとおり、次期指定管理計画でも取り上げていく。若年層の取り組みについては、年度毎の比較等も示しながら説明していきたい。また、SNSを活用すればよいというのではなく、若い方の意見等を聞きながら発信方法についても検討していきたい。次期指定管理計画5年間の実施に向けて、職員で検討していきたい。
- ・利用者に占める若年層の割合について、年度の比較を行うことを盛り込むようにしていく。

#### 議事2 令和6年度事業進捗状況について

**事務局から、令和6年12月及び令和7年1月に実施した事業、2月から3月に実施を予定している事業について説明し、意見が交わされた。**

- 若年層が集まりやすい企画を取り入れる。例えば、「楽しみながら防災を学ぶ」など。  
「まずは、行ってみようか」と思える内容を。講師も大学等と連携を取りながら考える。
- パソコン講座の実施もよいが、若年層が楽しめる内容も盛り込んでいくことを考えたかどうか。若年層と一緒に講座の内容を考える等の工夫が要る。
- バナナのたたき売りと防災のコラボ等、今までになかった内容を実施してみる。
- フラワーフェスティバルへの参加等も1回限りのイベントへの参加ではあるが、イベントへの参

加をボランティア参加へのきっかけにする。

- お弁当を作る業者、大学生とシニア大学（講座）のコラボ等を行い若年層の集客を図る。
  - ・学生は事業の計画等、どの程度関わっているのか、もう少し聞かせてほしい。
- 学生はお弁当の内容考案をしてもらい、考案を基にお弁当を業者が作ってみる。シニア大学でのお披露目のときに、マスコミに取り上げてもらいアピールする。
- 社協としても若年層利用集客について、考えているところである。
- お弁当を持ち込んで、利用をしてもよいか。
  - ・飲食ができないマルチメディア実習室、マルチメディアスタジオ（階段席利用）等はあるが、においとか残らない利用であれば、飲食の制限は設けていない。

### 議事3 令和7年度事業計画について

**事務局から、令和7年度事業計画について（資料2）について説明し、意見が交わされた。**

- ひろしまLMOについて、広島市からLMO事業を社協としても学校支援を実施している。
  - LMO事業は地域団体とコラボしながら進めていくとよい。
  - ・LMO事業に関する情報が少ないので、引き続き情報収集を行いながら進めていきたい。全市的な施設なので、これからも社協等と情報交換を行いながら進めていきたい。
  - ・運営委員の中でLMOに関わっている方がいれば発言していただけますか。
- まだLMOについて不明な部分が多いので、不安なままの運営している話を聞く。説明会参加したところ、分からない部分が多い。意見交換会には、素敵なLMOが多く地域の差が大きい為、地域に沿った細やかな説明をしていただける場がほしい。学習できる場は足りているということはない。小学校区140個のうち40個くらいのLMOができていて、設立準備中も含めて70個超えたところである。
- 袋町もLMO立ち上げを検討中である。支援団体のひとつが民生委員である。個人情報管理に気をつけながら活動をしている。LMOは地区全体の事業に対して活用していく。ボランティアとLMOのすみ分けが難しいことが課題としてあげられる。
  - ・ボランティア調整機関情報交換事業は、ボランティア活動の調整を行っている機関の報告や情報交換の場として実施している。
- 社協がボランティアを募集している事業に、町内会もボランティアを募集しているという事例がある。町内会としては夏休み、冬休みなどのお楽しみ会のボランティアスタッフを、中学の卒業生が行ってくれたらという思いがある。
- 令和7年度新規事業はどの事業か、教えてほしい。
  - ・⑱わかもの相談事業と㉑地域団体運営活性化フォーラムの2事業です。
- 事業計画を広げすぎて、職員が力尽きてしまうのではないかと。事業を組み合わせながら実施していくとよい。意識的に事業をコラボしていく、目の前の事業を消化していくのではなく、余裕を持って事業を実施していく体制を考えていくとよい。

- 勤労青少年ホームにあった機能がどのように変わったか。青少年が活動できる場がなくなっている。
- 青年団などのコミュニティの中で青少年センターの活動はある。青年の行き場所がなくなっている。市民活動団体等成果発表事業やまちかどコンサートに青年を呼び込むなど、若者が参加する繋がりをつくるきっかけとなる事業の実施を期待したい。
- 関連資料・図書コーナーの運営について、図書等の資料の選定についてはどのように考えているのか。
  - ・ 資料収集や図書等の資料選定については、職員が担当することとしている。
- 資料収集に工夫を凝らしてほしい。資料収集については、来館者のニーズが盛り込める手法を取り入れてほしい。

#### **議事4 まちづくり市民交流フェスタ2025について**

**事務局から、「まちづくり市民交流フェスタ2025」の日程確認について、提示した。**

- ・ 第2回運営委員会後、令和6年中に令和7年度の他団体優先予約申請を受ける事情があることを説明した上で、まちづくり市民交流プラザフェスタ2024実行委員長と事前協議を行い、令和7年度、令和8年度のフェスタ実施日程案を決めた。改めて、今回運営委員会で日程を決定したい。協議の上、決定した日程は以下のとおりである。
  - ★ 令和7年度フェスタ開催日程：令和7年11月15日（土）、16日（日）
  - ★ 令和8年度フェスタ開催日程：令和8年11月14日（土）、15日（日）
- ・ 令和7年度フェスタ参加募集が遅くとも6月から開始する為、実行委員会日程を今回の運営委員会で決定したい。
- 第1回実行委員会の開催日程は、夏休み前（7月中旬）に1度開催し、実行委員会資料を作るための意見を盛り込む会として開催するとよい。実行委員会に参加しているが、説明会に参加しているような感覚で参加している。実行委員会から参加団体で作っていくという意識が必要である。
- 第2回実行委員会では、第1回実行委員会が出された意見を参考に、実行委員会実施要領を事務局で作成し、作成した実施要領を軸に実行委員会を開催してはどうか。
  - ・ 運営委員から出された意見を参考に実行委員会日程について、以下のとおり決定した。
    - ★ 第1回実行委員会：令和7年7月17日（木）19時から
    - ★ 第2回実行委員会：令和7年8月28日（木）19時から

**【令和7年度第1回運営委員会】**

令和7年6月開催予定

閉会